

# 南あわじ市

第15号

平成20年8月1日発行

# 議会だより



△ 7月6日の操法大会で日頃の訓練の成果を発揮

## もくじ

第20回南あわじ市議会定例会……………	2・3	一般質問……………	6～10
討 論……………	2・3	市民の声……………	11
委員会審査報告……………	4・5	僕のまち 私のふるさと……………	12

編集／南あわじ市議会広報広聴特別委員会

発行／南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27 TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105

URL <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp> E-mail: [gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp](mailto:gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp)

# 開催される!

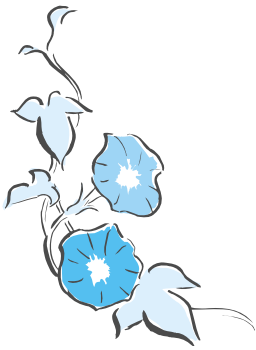
## 第20回

## 南あわじ市議会定例会

第二十回南あわじ市議会定例会は、平成二十年六月四日から六月二十日まで行われました。

今議会では、平成二十年度一般会計補正予算をはじめとする十六議案、同意一件、専決処分七件がすべて可決、同意、承認されました。また、請願一件を採択し、関係機関へ意見書を提出しました。

一般質問には三日間で十四名の議員が立ち、時には厳しく、また、建設的な質問が行われ、積極的な提案がなされました。



## 討論

### 国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

反対

吉田 良子 議員

国保税を決めるために予算の見直しをするのですが、国保税の税率を引き上げる内容となっております。国からの国民健康保険への負担率の引き下げに始まり、医療改善が行われ、国保税の引き上げ、滞納者が増えるなど厳しい状況が続いています。

すべての人が安心して掛かることができる医療制度にするためには国の責任が大きいものがありますが、市は社会保障として一般会計の繰り入れで引き下げを行う点で不十分であり、特定健診の負担が増えたことは認められません。

### 国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

反対

吉田 良子 議員

四月一日から後期高齢者医療制度が始まり、国保税の中に新たに後期高齢者支援金に加わり、税率も医療分、介護保険料（四十歳から六十四歳）、後期高齢者支援金の税率がそれぞれで計算され、最高限度額が引き上げられ合わせて五十九万円になります。

今回税率の改正で一人あたり昨

年と比べて一一・五％、一万五百円の引き上げになり、また軽減世帯にもしわ寄せになり引き上げられることになりました。

合併後、国保税は毎年のように引き上げられてきています。原油価格の高騰で食料品をはじめ物価高騰、さらに所得が落ち込む中で引き上げは認められません。

# 6月定例議会

## 全国市議会議長会表彰 受賞

- 【在職15年以上】 中村三千雄 議員  
乙井 勝次 議員
- 【在職10年以上】 沖 弘行 議員  
蓮池 洋美 議員  
川上 命 議員  
阿部 計一 議員  
北村 利夫 議員  
吉田 良子 議員

※町村議会の在職年数の2分の1を加算する。

## 請願

「次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の二分の一復元と堅持に関する件」

## 人事案件

(敬称略)

南あわじ市・洲本市中学校組合議会議員の選任  
中島 義晴

## 意見書

次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

議会推薦による農業委員会委員

森脇 忠行 (広田)  
畑野 泰之 (松帆)  
服部 正博 (市)  
原田富美男 (灘)

## (仮称)南あわじ市リサイクルセンター 建設工事請負契約の締結について

反対 長船 吉博 議員

リサイクルセンター建設に財政面で実質公債比率一九・三%となり、市長は私たち世代が痛みを伴い、健全財政基盤を作るのが次世代に対する責務だと言いつつながらまた箱物を作る。現在あるのに！このような嫌われる施設は地元のかの要望が伴い、さらなる出費

賛成 川上 命 議員

旧町毎にあるリサイクルセンターを一箇所にすることで、分別品目や処分の方法が統一でき、分別・運搬経費の大幅な削減が見込まれる。

また、今回から開始する「廃プラスチック容器」の分別においても、圧縮梱包設備を完備すること

反対 蛭子 智彦 議員

今回のリサイクルセンター建設について住民合意ができていないとの説明でしたが、地元から異議申し立てという不手際は重大な誤りです。

このリサイクルセンターの建設により緑地帯は、ゴミ袋有料化、国保料、水道料金値上げと続き大型ゴミの収集でもサービスの低下

が伴い問題点も多くある。ランニングコストや費用対効果と出資金回収を考えたら大幅赤字だ。民間にできるものは民間にと言われる風潮に逆行している。シルバー人材センター法制化で地方自治体の責務、雇用の確保、提供する団体の育成に反している。

により、従来の焼却から再資源化が可能となり、温室効果ガス排出を抑制し、負担軽減にもなる。

この施設は、大切な資源を有効利用することで、環境に負担の少ない循環型社会の実現が期待できる。

で合併時の公約違反です。

全市的にリサイクルセンターまでの距離が遠くなり、交通弱者に一方的に負担を強いるばかりで負担軽減が示されていません。入札までの準備期間がほとんどなく、入札の公正さを疑わせるものです。本会議での提案説明で収支計画などの資料がなく、不信を持ちます。



## 総務常任委員会

### 一般会計補正予算(第一号)

**問** 裁判員制度が始まることによる既存住民基本台帳電算処理システム改修費交付金が計上されているが、裁判員を選任するためのシステムは。

**答** 住民記録情報から裁判員を抽出し、CDで裁判所に情報を提供し、裁判所はCDから名簿作成・抽出を行い、神戸地方裁判所管内で一事件につき最終的に六人の裁判員を選任するシステムです。

**問** 産地生産拡大プロジェクト支援事業とはどのような事業か。

**答** 農協のレタス予冷の増強が主な事業で、ほかに各営農組合と農業生産法人への機械類の補助事業で、レタス、玉ネギの産地としての増強を図るものです。すべて国庫補助金で市からの持ち出しはない。

**問** 産地生産拡大プロジェクト支援事業では、前年の目標達成度に応じて国の推

進活動の補助率が変動するが、市は上限補助を目指しているか。

**答** 農業の増加目標として、基準年を平成十九年、目標年を平成二十二年としており、増加額を五億四千万円増加率を二・六％の目標としている。二十二年度には目標を達成できる見込みである。

**問** 市から整備事業主への補助率は市の裁量で五分の一から五分の四まで変動させることができるが、市の補助率は。

**答** 国の率により予冷センターは二分の一、その他機械類は三分の一で決定している。

**問** 小児夜間救急の件で、県病小児科の受付の見直しは。

**答** 一次医療での掛かりつけ医の診察を受ける体制を普及していく必要がある。将来的には、一次救急医療機関といったようなものを作っていく必要がある。当面はこの体制を続けて、今より良い体制を模索していく。県病としては、二次、三次の救急が受けられる体

制を組むと言っている。  
**問** 離島航路の件で、大手の旅行会社とタイアップした中で沼島の売出しをしているが、沼島汽船の乗船者数は増加が見込めるか、また収益につながるか。  
**答** 大手旅行会社及びJRとのタイアップは四月から順次動き出し、かなりの増加が期待できるが、メインの沼島汽船を利用した沼島一周クルージングは、規制があり離島航路の延長線上で実施できず、赤字補填及び地域の活性化のため規制緩和するよう陳情を行っている。

## 文教厚生常任委員会

### 市税条例の一部を改正する条例制定について

**問** ふるさと納税で税額控除すると市の税収は減になるのでは。

**答** 住民税で寄付金分の税額を控除することによる税収減については、交付税算入される。

**問** 寄付金条例制定の有無は。

**答** 寄付金条例を制定し、人形会館建設資金の募集として全国へPRを行う検討をしている。それ以外で寄付を希望される方については一般寄付として受け入れをする。

### 国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

**問** 窓口での医療費減免制度を実施する予定はあるか。

**答** 検討を行う。

**問** 今年度から人間ドック補助金を廃止した理由は。

**答** 特定検診制度への移行によるもので生活習慣病対策やガン検診制度がある中で、人間ドックに見合う内容となつて

容となつて

国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

**問** 後期高齢者医療制度については、七十五歳以上の人を線引きするということと国民的議論が起こっているが、事業を実施する市の見解は。

**答** 制度の周知不足であり、これまでの老人保険制度は七十五歳を境にして医療の給付を行ってきたり、これまでであった制度を踏襲しているとの認識。負担増になる点は国で見直しが行われている。

**問** 国保の制度改正で軽減措置分はどこから補填されるか。

**答** これまでも低所得者に対して軽減措置される保険料額の四分の三を県、四分の一を市が負担している。市の負担分の財源は一般会計における税収である。

**問** 国保から後期高齢者医療制度へ移行すれば、療養給付費の負担減となるのに国保税が一五％上がるのはなぜか。

**答** 合併から平成十九年度

までは基金二億五千万円の取り崩しと、充当で軽減に努めてきたが、平成二十年度には基金残高が一千万円、繰越金は二千三百万円程度と自主的財源が底をつき、一人当たり一百万円程度の負担増となった。

**南淡中学校屋内運動場大規模改造工事請負契約の締結について**

**問** 工事現場に発注者としてどのように関わっているか。

**答** 教育総務課の担当二名が月二回程度、工程管理の打ち合わせを行う。

**問** 改修の基準及び内容はどのようにして決定するのか。

**答** 築約二十年経過した建物で使用頻度、学校との打ち合わせの中で決める。改修の内容は、校長・教頭が判断し、担当者が実地検分を行い決める。

**(仮称)南あわじ市リサイクルセンター建設工事請負契約の締結について**

**問** 高額の費用をつぎ込んだ費用対効果は。

**答** 統合により運営経費は約一千六百万円の軽減が図れる。

**問** 統合のメリットは。

**答** 今まで取り扱っていなかった廃プラスチックを回収し資源化するのが一番のメリット、また一ヶ所にまとまることにより引取り経費の軽減分が収益に上がってくる。

**問** センター建設と既存の施設を使用する場合の経費の比較は。

**答** リサイクル率を高め、資源を有効利用するという点でセンター建設が長い目で見るとよいのではないかと判断している。

**問** 起債をすると他の事業に影響するのではないか。

**答** 合併特例債を使用しており、財政健全化計画にも織り込み済みであるので、他の事業への影響はない。

**請願書「次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の二分の一還元と堅持に関する件」**

※請願提出者に参考人として出席を求め、審査を行う。

**問** 食育の推進、読書の大

切さについて、現場での取り組み状況は。

**参考人** 食育については栄養教諭の各校への配置には至っていない。読書の推進については、学校には専門の司書はおらず、資格を持つ教職員が行っている。

**問** 教育水準をどこにおいて格差が生じるとしているのか、また、予算の充実・確保の必要性は。

**参考人** 諸外国と比較して一クラスの児童数の多さという点では、教職員数が足りていない。予算に関しては、財政的な理由での合併や廃校が進んでいるのも、国庫負担金が二分の一から三分の一になったことが影響している。

**問** 教育環境の条件面に対する要求の取り組みと併せて、教職員の指導力の向上のための取り組みを行っているのか。

**参考人** 兵庫県教職員組合では、教育研究活動で技量向上の取り組みを行っており、三原支部としても独自に研修会を行い研鑽を積んでいる。

## 産業建設常任委員会

**企業等誘致条例の一部を改正する条例制定について**

**問** 市が企業に対して固定資産税を免除した場合、国からの補填は。

**答** 課税免除額の七五%を三年間交付税措置が受けられる。市の優遇措置は五年間となっているので、二年分は交付税措置がない。

**サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例制定について**

**問** 年間収入は。

**答** 利用料は三千万円を少し上回る程度で、それ以外で大きなものは食堂収入で、おおむね三千万円から三千五百万円程度。

**問** 臨時職員とパート職員の採用の人事権はどこか。

**答** 市長との雇用契約になるので人事権については市長である。

**問** 指定管理の予定は。

**答** 平成二十一年四月一日以降は指定管理を行うことになっており、旧三原町時代に商工会への指定管理の

話があった関係で、現在、商工会に声掛けをしており返事を六月末としている。商工会が受けないときは公募を行う。

**公共下水道条例の一部を改正する条例制定について**

**問** 下水道排水設備工責任技術者とはどういうものか、また誰が認定するのか。

**答** 下水道法の中に技術を一定の基準に定めるといふ部分があり、施行令の設置の構造及び技術基準に基づき、全国の水道協会が指針的なものを定めている。兵庫県は下水道公社が試験及び更新の講習を行い、下水道公社の理事長名で合格証を出している。

**道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について**

**問** 道路の占用を認めている数と、年間徴収料はどのくらいあるのか。

**答** 占用料を請求している相手先は二十九で、代表的なものとして関西電力、N T Tがある。徴収料は平成十九年度決算見込みで一千五百四十万円程度。

原口 育大 議員



### 行財政改革について

**問** 行革を進めるのに大切なことは何か。

**市長** 何よりも大事なものは、職員の意識改革と市民の理解と協力。

**問** 職員からの提案が十九年度に三件しかなかったが。

**市長** 職員は自分の関係する部署については熱心に取り組んでいるが、他の部局については割り切った考えがあるように感じる。市の一体化に自分のなすべき役割の自己意識を高めてもらうように取り組む。

**問** 職員の意識改革の大前提はコンプライアンスであると思うが、市長の認識は。

**市長** 公僕は全体の市民のための奉仕者であることが大事だが、たまに一人のための奉仕者になっている場合に気付く。市民の信託を得るために法令の遵守、不正要求に屈してはならない。

**問** 一般の人や企業は法令遵守に留意すればよいが、市長や議員は法令の意味を理解して、必要ならば改正なり廃止も考えながら遵守しなければならぬ。特に規則や要綱は市長が一人で作れるからより高い規範が求められると思うがどうか。

**総務部長** その通りである。

**問** 片山善博氏は「ふるさと納税の愚かさ、分捕り合戦に走らす」とコメントしている、税収格差は、本来は交付税で対応すべきだが始まった以上は分捕り合戦に参加しない訳にはいかない、どう考えているか。

**市長公室長** 条例制定に向けて検討している。

長船 吉博 議員



### 教育にお金を惜しむな

**問** 子どもが実社会に出たときに役に立つのが本来の教育では。

**教育長** 子ども達は使える英語を望んでいる。聞き取ってリスニング、リーディングを重きに置いた教育がなされる。

**問** 英語指導委託料が五人から四人に削減されている。経費削減したとあるが、事務評価と教育はどちらが大切か。

**副市長** 難しいが教育も経費とのバランスを考えていく必要がある。

**問** 英語に限らず、教育にお金を惜しまずに。  
**市長** 教育は百年の計で取り組まないと、そう簡単に改革はできない。

### 財政改革、改新は痛みを伴わないとできない。

**問** 行財政改革実施計画一版・二版で、この年次のとおり進めて確実にできるか。

**市長** 状況下で見直しや後退したり、行財政も生き物だ。

**問** 大阪維新プログラムのような厳しい改革に取り組まないか。

**市長** 一番簡単は職員の給与カット。これは最後で先に打ち出すのは如何なものか。

### 高齢者に雇用の場を

**問** 雇用する団体の育成は。

**健康福祉部長** 非常に難しい。

**問** 農林水産省から今後、耕作放棄地や休耕田に補助金を付け活用計画、市とJAあわじ島と共同で働く場の確保、育成を。

**市長** 減反政策には反対。回復できない田んぼができる。考え方には共感できる。

蛭子 智彦 議員



### 重度心身障害者 介護手当を 継続するべき

**問** 他の議員の質問で、重度心身障害者の月額一万円介護手当を継続するとの答弁がありました。その答弁どおりにしていただきたい。

**健康福祉部長** 市長答弁どおり、市のできる範囲で継続をしたい。

**問** 質問通告だけで、手当支給が継続となった。一般質問の重要性を改めて理解でき、うれしい。議会無視の一方的な廃止通知は反省を。

**市長** 県事業の随伴なので今回の対応になった。  
**問** 今後、議会を無視できないよう条例化を進めらるべき。

### 給食の改善を

**問** 市食育推進計画はできているか。

**健康福祉部長** 平成二十一年の計画策定に向けて準備中。

**問** 食育は教育の一番基礎。

**教育長** 生きる上で最も基本。

**問** 食育の中で学校給食が重要と考えるが。

**教育長** 教科指導、体力増進の中で位置づけたい。

**問** パン給食は週何回か。

**教育部長** 米飯三回、パン二回。

**問** パンの原料小麦はほぼ輸入品で残留農薬は米一に対して、麦八十の基準。農薬の基準からすると米飯八十回に対してパン一回でなければ安全といえないがどうか。

**教育部長** 残留農薬のデーターを把握していない。  
**問** 今後は、データーをしっかりと把握して食の安全からの主食のあり方について改善を求めたい。  
**教育長** さらに認識を深め、資料提供など綿密にやっていきたい。



## 福祉施策について

**問** 重度心身障害者介護手当支給と障害者自立支援法との関係は。

**健康福祉部長** 障害者自立支援法による介護給付の中で、在宅の障害者サービスが充実してきつつある。そういうことが直接的、間接的改正の大きな要素となっている。

**問** 重度心身障害者に対する施策としての自立支援法が果たして実施に即しているか。

**健康福祉部長** まだまだ法律が十分でないというか、法律はあっても実態としてなかなかサービス提供がうまくいかないといったことについての課題は認識している。

**問** この事業は、来年度以降どういふうに考えているか。

**健康福祉部長** もうしばらく他市との関係も含めて検討していきたい。

**市長** どのような形で市としてするのがベターで、そういう人達に喜んでもらえるのかということも今後、二十一年度の予算編成までに十分考えていきたい。

## 道路における歩行者、自転車の通行安全確保について

**問** 市道において危険な場所等を優先して、予算が許せば歩道を、そつでなければ白線による通行区分を設けることができるか。また、国道、県道についてもそれぞれの管理者に対して安全対策を要望して頂きたい。

**市長** 用地の関係、お金の関係があるが、危険ヶ所にあつては早く、可能な限り改修なりすべきであると思つている。また、国、県にはその都度強く要望をしているが、昨今の流れからして、なかなか難しい状況にある。



小島 一 議員

## クールアースデーの制定でライトダウンを

**問** 環境基本計画を策定の上、市のホームページで公開し、多くの人に周知徹底しては。

**市長公室長** そのように考える。

**問** 洞爺湖サミット開催初日の七月七日をクールアースデー、即ち地球温暖化防止の日と制定し、ライトアップ施設や、家庭電気の節電に努めるライトダウンを呼びかけてはどうか。

**市民生活部長** 職員の家での消灯を呼びかけるのははじめ、広くPRしていきたい。

## 携帯電話のリサイクルを

**問** 希少金属のレアメタルが多く含まれる携帯電話のリサイクルを求める。

**市民生活部長** 不用品は販売店で引き取りを呼びかけたい。

**問** ノーベル平和賞受賞者のマータイ博士は、日本の「もつたない」という概念の中に、資源に対する思いやりや、感謝の気持ちを持つなど三Rが含まれると、世界中で訴えております。小学校の英語教育で、語学と国際感覚を育む

**問** 小学生になぜ英語教育が必要と思うか。

**教育長** 国際共通語として英語そのものがコミュニケーションツールとなっている。英語に慣れ親しむ子どもを小学校で育てなければならぬ。

**問** 必修化への関心度は、保護者が七七・四％、先生は三六・八％である。子どもに聞くと先生が英語活動に積極的かどうかで反応が大きく違う。

**教育長** できる限り担任が指導できる体制の確立に現場と共に努力したい。

## 英語のBGMで、聞く力を育む

**問** 外国語を聞き取る力は六〜八歳位と聞く、きれいな英語をBGM風に流してはどうか。

**教育部長** 非常に有効。是非取り入れたたい。



沖 弘行 議員

## 酪農牛乳工場建設に向けての現状

**問** 効率的運営によって経費の節減、経営基盤の強化、持続的発展を図るため、新工場は必要である。ご承知のとおり事情により、昨年は新工場建設がとまりました。第二回通常総会で可決されれば、国、県、市の全面的な協力が得られるか。

**農業振興部長** 六月二十九日の総会での同意が得られれば、全面的に押し進めていく覚悟です。

## オニオンタワーの効率的活用

**問** 総額六千万円かけてのシンボルタワーの評価についてお伺いします。

**市長** 最大限努力して、建設費を自治振興事業から捻出し、ああいう形ができた。評価している人も結構おります。

**問** 市はスポンサーからの広告収入で維持費・電気代は賄う。議会では一般財源からは一切負担をかけないと報告があつたが。

**総務部長** 電気代は支払っています。

## 企業団地の現状と今後の展開

**問** 総事業費が三十二億四千万円で、二十七億五千万円が借入れと聞いている。概算内訳、平成十九年度末、起債の償還残り七億六千万円ということですが、一般会計からの繰入額は当初から合計いくらか。

**産業振興部長** 用地補償費、工事費、借入金利息、委託料、事務費合計で三十二億四千二百二十万円。

一般会計の繰入金、十九年度末で五億九千九百三十三万円となっております。



木曾 弘美 議員



川上 命 議員

### 地球温暖化と温室 ガス削減について

**問** 温室ガス削減について南あわじ市としての取り組みは。  
**市民生活部長** 地方公共団体実行計画というのを策定する予定にしている。

### 風力発電について

**問** 環境にやさしいエネルギーとして、太陽光発電、風力発電、バイオマスがあります。問題のある風力発電（音、低周波、電磁波）について  
**市長公室長** 特殊事情を除いて、全てその範囲に収まっているということになります。  
**問** 行政が矢面に立って住民の不安を解消してあげるのがベストであります。行政の責任は。  
**市長公室長** 業者に対して強く要望する中で、今後も引き続き測定をさせていきたいと考えております。

### 世界的な食糧危機について

**問** バイオマス燃料の食糧との競合で世界的に食糧危機が叫ばれています。バイオについて。  
**市長公室長** 食料と競合しない線を探っていく必要がある。バイオの世界が別途あるのかなと思っております。  
**問** 世界的に食糧危機であり、文化国家日本の自給率が四〇％を割っている中で、米の減反政策、何か矛盾を感じます。このような中で農業、漁業を行政がどのように支え、活性化していくのか。  
**市長のお考えは。**  
**市長** 市の基幹産業である農業、漁業、これは行政も一生懸命取り組んでいく必要があります。これはその事業展開を並行しつつ、当然、農家、漁業者その他関係する人たちがこの南あわじ市の農業、漁業をどうするかということをもう一度、考え直す必要が出てきているように思います。



廣内 孝次 議員

### 内水対策について

**問** 流地区の内水対策の経過は。  
**都市整備部長** 最終的に河川改修が必要。とりあえずサイホンの掃除をする。

### 道路整備について

**問** 幡多山線の市八木線への延長計画は。  
**都市整備部長** 当初は榎列八十一号線、市八木線につなぐ構想。将来県道市八木線につなぐ考え。  
**問** 延長に伴う新庄地区のほ場整備は。  
**都市整備部長** 企業団地のメイン道路は洲本松帆線。地元の熟度、盛り上がりを待つ。  
**問** 県道洲本松帆線の整備は。  
**都市整備部長** 安全施設、歩道設置の計画はない。  
**問** 入田おのころ線と大榎列脇田線の連結は。  
**都市整備部長** 法線の修正が必要で地元と検討。  
**問** 入田おのころ線の延長は。  
**都市整備部長** 当初、技術センターの道路まで。入田、中八木地区のほ場整備と絡めて検討、計画。  
**問** 市八木線への接続は。  
**都市整備部長** 現状でも十分大型車は通れる。  
**問** 三原川右岸道路のおのころへの延長は。  
**都市整備部長** 県道八木松帆線から市八木線までの計画。おのころ橋から押上橋間の計画はない。  
**問** 国道へは。  
**都市整備部長** 用地の関係もあるが国に円行寺橋の右折だまりを要望。

**問** 企業団地の周辺道路は接続が悪いが構想は。  
**市長** 道路の整備が大変必要。主なルート設定して力を入れる。  
**問** 道路の整備で都市計画の取り組み、まちづくりの意識の高さが判断される。行き止まりの道路、歩道のない県道などがあり、道路整備を順次計画することが必要である。



吉田 良子 議員

### これからの市民 参加について

**問** 市は、新庁舎については公共施設等検討委員会の答申が正式な形で提出されれば検討を十分に行いたいとの姿勢ですがどうか。  
**市長** 答申の信任は当然するべきであるし、答申を待つて尊重しながら進めていく。

### 市民の声を反映するにパブリックコメント 制度（意見聴取）を整備し、活用してはどうか。

**市長公室長** 総合的に判断していきたい。  
**問** これからの市民参加についてまちづくりはみんなで決めるために「自治基本条例」「市民参加条例」を考えてはどうか。  
**市長公室長** まず市民憲章を考えている。

### 教育予算の充実を

**問** 国からの教材費を市はどのように対応しているのか。  
**教育部長** 国からの交付に対して十八年度は二一七％、十九年度は八六％。  
**問** 保護者から教材費を集めているが、実態把握しているか。  
**教育部長** データは入手していない。  
**問** 調査すると教材費として各学校では違います。が小学一年生は、一年間で約二万三千円集められ負担は大きいものがあるかどうか。  
**教育部長** 一年生は何かちょっと高いのかな。  
**問** 保護者負担の実態調査を行うこと、また学校図書予算の充実も必要でないか。特に市民生活が厳しい中で対応を考えていく必要がある。



## 公正・公平について

**問** 条例、規則等は趣旨に沿って公正公平に運用されているか。

**総務部長** 当然、行っている。

**問** 役職定年制を選択して、何がどう変わるのか。  
**総務部長** 人事の停滞を防止、組織の活性化、若年職員の登用等促進する制度。

**問** 制度のメリットは。

**総務部長** 資質とモチベーションの向上、女性の登用等、反面、役職退任者の職務意識が低下する恐れがある。

**問** 広域消防に派遣している職員の役職は何か。

**総務部長** 役職退任しているので参与として派遣している。

**問** 参与であって、消防長でないと理解してよろしいか。

**総務部長** 派遣協議で消防長の身分をつくった感がある。

**問** 消防長の職務、任務は。

**総務部長** 消防職員を総括する。

**問** 消防長職は政令で定める資格とは何か。

**総務部長** 行政事務に従事し、長の職を四年以上勤めたもの。

**問** 本則はどうか。

**総務部長** 消防署職員で、消防署長の職、消防本部、消防学校、職員、団員の訓練機関で署長職と同等以上の職にあったもの。

**問** 淡路広域消防長職は、当市が選択する役職定年制の趣旨に沿っていない。

**総務部長** この派遣は派遣先の事情により、この様な形になった。便宜的に練り上がったという事です。



北村 利夫 議員

## 道路整備について

**問** 県道福良江井岩屋線の整備計画は。

**都市整備部長** 推進協議会設立によって関係する地域の方々や道路幅、形態など協議によって決めていく予定です。

**問** 阿万福良湊線、阿那賀水口付近整備改良についてお伺いします。

**都市整備部長** 設計もできてまして用地交渉の段階です。買収後に工事着手の計画です。

**問** 津井伊加利線の地元調整は。

**都市整備部長** 関係地区区長さんに事業の説明をしました。全体的な考え方として要望をもとに進めていく予定です。

## 神戸淡路鳴門自動車道通行料金軽減の取り組みについて

**問** 淡路島全体が共通・共有する課題・問題、神戸淡路鳴門自動車道通行料金軽減運動など淡路広域事務組合を軸にした取り組みをお伺いします。

**市長** それぞれの市の独自性があるなかで、可能なものについては島内一つになって、またそういう方向も必要と考えています。通行料金軽減化については、部分的、限定的にねばり強く要望をしております。



楠 和廣 議員

## 微量採血穿刺器具使い回しについて

**問** この医療器具は、使い回しはいけないとの認識があったにもかかわらず無視したということは何かそうさせたのか。

**健康福祉部長** キャップあるいは本体を消毒すれば特段問題はないといった認識の甘さがあった。

**問** 対象者は二百六十人に対して、肝炎、HIV等の感染有無の検査体制は。

**健康福祉部長** 三市の協力体制でやっております。本市の方は六月十八日、六月二十三日。受検希望者は百二十名です。

**問** 対象者全員が検査を受ける体制を組まなければならぬ。結果全ての方が異常なしであることを願っております。

## リサイクルセンターについて

**問** 五月二十八日、リサイクルセンターの入札予定が急ぎよ延期になった理由は。

**市民生活部長** 地元から騒音とかにおいを心配する意見と住宅用地がリサイクルセンターに転用されたことに対する懸念をクリアするため。

**問** このリサイクルセンターは市でやらなければならぬのか。民間業者でも大小の違いはあれ、近い状態でやっている。土地建物施設で四億円かけてやることについて私は釈然としない。民業圧迫にもなると思う。

**市長** 今、特に環境問題が非常にやかましく言われております。効率化の問題もあるわけです。一つのセンターとして運営する方がメリットがあるかと判断し、着手することにしました。指定管理についても可能であれば考える。



印部 久信 議員



武田 昌起 議員

## 休耕田対策と酪農業について

**問** 現在休耕田百九十ヘクタールある。農事組合を設立して有効利用するのはどうか。飼料用稲を植えローラーにして保存、酪農家へ発酵稲わらを提供する。ローラー資材に助成金出すなどは。畜産が大事である。野菜類及び米作りに酪農の牛糞が必要である。連携対策は。

**農業振興部長** 組合法に基づく構成員三名以上の農民、資本金定めなし、配当金は出資比率による分配。助成金は堆肥対策費二百万円のみ、JAと酪農共同で八十六・五ヘクタール推進、(飼料用三・五ヘクタール) 作付けを増やす方向です。

## 消防対策は万全か。

**問** 消防力基準で現場到着十分となっているが署から遠いところで何分か。

**総務部長** 約二十五から三十分です。

**問** 点在住居に防火水槽補助は。浅井戸の横掘助成はあるか。

**総務部長** 防火水槽は三分の二の助成があります。井戸については予算内の二分の一の助成です。

**問** 火事場で水源場所優先するが水源マップは出来ているのか。活動服は各分団の識別ができるか?はしご車購入は。

**総務部長** マップは分団ごとで把握、市内全体ではできていない。服の識別は必要であれば是非つきたい。合併特例債一度可能かどうか調べて見たい。

他に、三原・西淡インター前に地場物産販売所設置を要望する。



森上 祐治 議員

## 若者に対する現状認識と施策について

**問** 「秋葉原」の事件を起こした若者、「蟹工船」を読みふけるという現代の若者について市長はどう思うか。

**市長** 若者が生きにくい世の中だと痛感する。労働状況の不安定さから精神的にも追い込まれている若者が多くなってきた。

**問** 本市でも第一次・第二次産業での若者の就業率(約四〇%)が低下し、年々第三次産業での就業率(約六〇%)が高くなっている。農業や漁業地場産業で若者が働けない状況が増えてきているという厳しい現実があるが、正規・非正規雇用の実態はどうなっているか。

**産業振興部長** 全国的な総務省の調査では十六年現在で働く若者の二八・五%が非正規雇用で、本市もよく似た傾向と推定される。しかもその割合が年々高くなっていると判断している。

**問** 本市の若者の未婚・既婚の比率は。

**健康福祉部長** 十七年度の国勢調査では二十五～二十九歳の青年男子での既婚率は六六・八%、女性は五一・七%、三十～三十四歳の男性が四一・二%、女性が二五・四%となっている。

**問** 本市の若者住宅環境はどうなっているか。

**健康福祉部長** 平成十二年度の三世代同居調査では、本市は二三・三%と島内他都市と比べて七～一〇%高い同居率だった。

**問** 総合的な意識調査をされたことは。

**執行部** (返答なし)

**問** 現代の若者は孤立化している。若者が連帯を進める対策が必要でないか。

**教育部長** 将来への不安があるのは事実だ。

## 歴史探訪

### 庄田八幡神社 (倭文)

庄田八幡神社は、最初助吉村(現倭文安住寺)にあったが、助太夫という者が、今の地に移したと伝えられ、現在もその地には「ミヤマ」「ホンデン」「カケラデン」等の畝号が残っている。昔の拜殿は、飛騨の工武田番匠が健造したというので名高く、天文八年(一五三九年)三好氏の重臣、加地六郎兵衛、加地左京之進が社殿を改築し、その由緒を記した瓦が八幡神社の社宝として保管されている。

この神社は、ホシヅケノミヤ菅田別命(応神天皇)が奉られており、脇座には倭文明神等八座が奉祀され、庄田神道、土井、安住寺、委文、高、奥畑の一部、八集落、約四百戸の氏子をもっている。

元来、全倭文郷の鎮守であったが、ある時代の祭礼の席で争論があり、その後、長田は分離し、分霊を現在の長田八幡宮にまつるようになった。また一月十五日の祈年祭には粥占いの神事もあり、この神社の尊厳さが偲ばれる。

庄田八幡神社は、むかしから武將の崇敬厚く、文明三年(一四七一年)庄田城主船越定氏が大蛇退治の際、社前に奉納したといわれる。

明治六年二月郷社に列し、同二十九年改築、同四十五年神饌幣帛料供神神社に指定される。



## 頑張つてよ

北本 吉宏 (北阿万)



阿万で生まれ育って現在、北阿万に住んでいる。地元

の企業で永年お世話になり今は青少年交流の家でカッターの指導員をしている。最近地元企業が縮小したり閉鎖したとの噂を聞くが残念でならない。農業、漁業、商業も芳しくなく、若い人

## 今、思う

清川とし子 (広田)



この地に根を下ろして早や三十七年が経ちました。非

農家から農家に来て、兼業農業の担い手として「食」に携わる事ができ、とても幸せに思っています。また、専業、兼業に拘わらずパートナーシップを発揮する事が望ましい事だと考えています。自然の残るこの地

の地元離れが進んでいるらしい。都会に住む同窓生が年に何回か釣りに来る。釣れる魚はもちろん新鮮で味も全く違うらしい。帰りには、ついでに野菜もたっぷり貰って帰る。近所に配ると好評で一ヶ月すると「早く淡路に行つて来て」と催促されまた来る。友人たちは、できればふる里に帰ってきて住みたいと思っている。

このあいだ、阿万の漁業組合でウバメガシの枝を束にして沈め、アオリイカの産卵場所をつくるという。百アールの水田の水管理に朝夕歩くこと、二時間。減反対策に植えたあじさい、ひまわり、あさがお、コスモスに心癒され、時々ボランティア活動にと最高に健康的な毎日を過ごさせて頂いています。

町民プラン二十一策定委員、地域福祉策定委員、県農林水産ビジョン淡路地域策定委員、南あわじ市総合計画審議会委員、南あわじ市男女共同参画プラン策定委員と種々参画させていただきました。根底にあるのは「みんなで支えあう心豊かに安心して暮らせるま

数年前からやっている。秋にはおいしいアオリイカをいただいたりしている関係で手伝いに行つた。全員協力して昼前に終わり、お昼はタコ

の天ぶら、アジのフライ、鱧、さしみ食べ放題で、これらのうまかつたこと。この他に貝ボタンの廃材でナマコの産卵場所、古タコツボの投入、雑魚の放流とやっている。先輩や幼馴染が現在も頑張っているが、どっこい若い後継者もか

りいる。今朝の新聞で耕作放棄地を耕し、里山の環境を守り、

市民農園として貸し出し、ゆくゆくは田舎暮らしを希望する移住者も見込むと記事があった。一方、市の方では企業誘致課を新設し、徐々に成果を挙げているという。

頑張つてよ。暗いニュースばかりでない。

が、男女共同参画推進や少子化対策等が講じられる

## パブリックコメント

「中間まとめとして、次期選挙より議員定数を二十四人とすることについて、去る五月一日から五月三十一日までパブリックコメントを募集した結果、計十二通のご意見をいただきました。

・二十四人より少なく！  
【主な理由】

人数が多いのがいいというわけではない。優秀な方の人選ができ、手抜きをしない  
で真剣な議論ができる。

・削減には反対！  
【主な理由】

過疎地域から議員がいなくなり、市民の声が市政に届きにくくなる。行政の監視という面においても一定の定数は必要だ。

・その他の意見

定数については、報酬の額を含めた議論が必要。数字合わせや他市との比較でなく、南あわじ市はかくあるべきという目標設定をすべき。

※詳しい内容については、議会事務局または各総合窓口センターまで



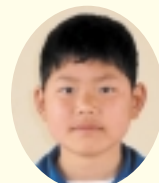


きれい

# 僕のまち 私のふるさと

## ぼくの住んでいる町「市」

市小学校 六年 入口 拓也



ぼくが思うには、市のいいところは三つあります。

一つ目は、ぼくの通っている市小学校では、十年以上前から朝の「あいさつ運動」を続けていることです。毎月初めの一週間、通学路の途中の交差点や校門などで地域のおじさん、おばさんといっしょに行っています。大きな声で元気にあいさつをすると、とても

## 南あわじ市への思い

神代小学校 六年 榎本 彩花



南あわじ市になって、一番良かったと思うことは、「ら

んらんバス」です。最近、私の家の近くにもバス停ができました。夏休みには、一人でおばあちゃんの家

すがすがしい気持ちになります。ぼくは、いつまでもこの「あいさつ運動」が続いてほしいと思います。

二つ目は、四季折々の水田の風景です。ぼくの住んでいる家や市小学校の周りにたくさん田んぼがあります。春の終わり頃、田植えの準備のため田んぼには水が張られます。そこに太陽の光が当たり、反射するかがやいてとてもきれいです。夏には、稲が風に吹かれて波のようにゆられ、近づいたり、遠ざかったりしているようにおもしろいです。秋になると、田んぼ全体が黄金色に染まり、風がふくとまるで黄金のじゅう

たんみたいにゆれてとてもきれいです。

三つ目は、淡路人形浄瑠璃です。これは、市三條でできたと言われています。今、この人形浄瑠璃を行っているのは一座しかないのでもなくならないようにしたいです。

また、ぼくの学校には郷土文化部があって、毎週木曜日、お師匠さんの三味線に合わせて浄瑠璃の語りを練習しています。

ぼくの住んでいるこの町の伝統文化や風景はいつまでも変わらないであってほしいと思います。

遊びにいけるので、すごく便利で楽しみです。また、去年参加した、わんぱく塾も良かったです。私は沼島探検に参加しました。これ

からも参加したいと思うので新しいメニューを作ってほしいです。

南あわじ市へ希望することとは、もっと安全に通学できるようなしてほしい事です。危ない所が多いので、歩道の設置や、冬は下校時でも暗くなってきた日

が多いので、もっと外灯をつけてほしいです。あと、移動図書館もあつたらいいと思います。

南あわじ市は、淡路玉ねぎや昔から伝わる人形じょうりややおのころ神社が有名です。たくさんのお客も来ています。周りの人からゴミのない美しい町だなと思ってもらえるように、一人ひとりが心がけていかないと、と思います。

## 編集後記

地球が出来る四十六億年の過程で質量が中心部に収斂、そして外部惑星の衝突による熱エネルギー蓄積、それらによる高温高压環境で百種類あまりの原子が形成された。その産物である銀を掘り出した世界遺産「石見銀山」を訪れることができた。人がどうしても作り出せなかった貴金属だから価値があるのだろう。

市政、それは執行する側と評価する議会との相互作用の場で形成されてゆく。マクロからミクロの広がりまで美しい統一理論で表現できないかなどと坑道の中で思った次第です。

(楠直)

